

業務名 (業務コード)		ロケーション情報登録 (L O A O 1)												コード	入力条件/形式		
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰り	繰り	条件									
						1	2										
1		入力共通項目		an	398			M									
2	90	対象外表示	TSG	an	1			C									以下の場合に「X」を入力 (1) 運送中の場合 (2) 入力者の管理する保税蔵置場に設置されていない場合 (3) AWB情報登録業務実施済みで、かつ貨物確認情報登録業務未済貨物に対して特殊貨物記号を登録する場合 (4) 処理対象外とする場合
3	*	AWB番号	AWB	an	20			M									(1) 先頭3桁が「XXX」の場合は、処理対象外とする (2) 入力されたAWB番号がHAWBの場合は、入力者の管理する保税蔵置場がHPK業務を省略可能な保税蔵置場でないこと
4	*	特殊貨物記号	SPC	an	3			C									変更しない場合は、「***」を入力
5	*	事故貨物	DMG	an	5			C									事故コード (1) 複数の事故がある場合は、代表とするものを入力 (2) 税関届出を必要とする事故は、先頭1桁目に「Z」を入力 (3) 税関届出を必要としない民間の事故は、入力自由
6	*	無料期間適用表示	APL	an	2			C									航空会社コード (1) 保管料の無料期間を適用する貨物の場合は航空会社を入力 (2) 既に無料期間が適用されており、取り消す場合は「XX」を入力
7	*	従価保管料率適用表示	JYU	an	2			C									(1) 従価保管料率表を適用する貨物の場合は「VS」を入力 (2) 既に従価保管料率表が適用されており、取り消す場合は「VX」を入力
8	*	生鮮食料品識別記号	CCD	an	2			C									生鮮食料品識別コード 変更しない場合は、「**」を入力
9	*	ロケーション	LOC	an	80			C									(1) 以下の形式で入力 ロケーション、符号「,」、個数 例) ABC, 個数 ①ロケーション: 3桁以上の英数字 ②個数: 6桁以内の数字 ③単独ロケーション入力の場合、個数は省略可 ④複数ロケーション入力の場合、ロケーションと個数は対となっていること ⑤ロケーションと個数は「,」で区切ること (2) 特殊貨物ロケーションコード(保管料対象)の場合 ロケーション(3桁)、符号「,」、個数 例) VAL (個数の省略可) VAL, 個数 (複数ロケーション入力可) VAL/ABCD, 個数 (「/」以降は自由入力) (3) SP貨物の場合は、先頭2桁に「SP」を入力 例) SPX (3桁で入力) (4) 特殊貨物ロケーションコードは、5種類以内であること (5) スプリット貨物の場合、保税蔵置場単位のロケーション桁数の合計が80桁以下であること。
10	*	手作業記号	MST	an	1			C									ロケーションを手作業で管理する場合は、「M」を入力
11	*	到着便名1	FL1	an	6			M									(1) 航空会社コード+フライト・ナンバーを入力 (2) フライト・ナンバーについては、3桁又は4桁の入力が可能。4桁目については、英・数記号が可、それ以外は数字とする。
12	*	到着便名2	FL2	an	5			C									(1) 便名の日付部を以下の形式で入力 DDMM (2) 到着便名1が「UNK」の場合は、入力不可
13	*	到着空港	POT	an	3			M									IATA空港コード